

5 昭和41年度豚産肉能力検定成績(抄録)

担当 菅原兼太郎 加藤己之吉
大橋昭也

1 目的

豚の産肉経済性に関する能力を把握して優良種豚の造成と普及を図る。

2 検定方法

當場けい養種豚で、産子能力検定に合格した雌豚から生産された同腹子豚中より、豚産肉能力検定基準に基づき 雌、去勢雄各2頭づつ計4頭を選んで1組とした下記の5組について実施した。

3 検定豚

本年度検定を行なった種豚はつぎのとおりである。

組別	品種	種雄豚	種雌豚	調査子豚の生年月日
41-S-1	Y	39-5コーキー ローズ キンリユ 4-3	38-38マグネット シウン ポール	4 1.2.2 0
41-S-2	L	クニウデナ 62-31	クニ マグシン クッキー 62-1042	4 1.2.2 1
41-S-3	Y	39-5コーキー ローズ キンリユ 4-3	38-34 アンテリー スイン ロビン	4 1.2.2 2
41-A-1	Y	39-24ストック ニュートン5-1	39-41アンテリースイントン ロビン6-2	4 1.8.2 7
41-A-2	Y	39-24ストック ニュートン5-1	38-38マグネット シウン ポール	4 1.9. 2

4 検定成績

(1) 発育

組別	品種	生後日令			検定所要日数			1日平均増体重		
		開始時	前期終了時	検定終了時	前期	後期	全期間	前期	後期	全期間
41-S-1	Y	98日	157日	218日	59日	61日	120日	514g	663g	590g
41-S-2	L	74	126	182	52	56	108	581	728	656
41-S-3	Y	86	147	209	61	62	123	496	656	575
41-A-1	Y	73	139	201	67	61	128	451	661	552
41-A-2	Y	77	144	203	67	60	129	453	673	545

(2) 飼料所要量

組別	前期		後期		全期間	
	消費量	要求率	消費量	要求率	消費量	要求率
41-S-1	89.4 kg	2.97	158.2 kg	3.93	247.6 kg	3.52
41-S-2	88.0	2.93	160.7	3.97	248.7	3.53
41-S-3	90.2	3.06	156.6	3.91	246.8	3.54
41-A-1	97.7	3.27	161.0	3.99	258.8	3.69
41-A-2	99.1	3.28	155.4	3.89	254.5	3.62

(3) 屠体調査成績

組別	絶食 体重	と肉 歩留	と 体長	背 要 長			と 体幅	ロ ス			大割肉片の割合		
				I	II	III		面積	長径 と 短径	周囲 長	カタ	ロース パ	ハム
41-S-1	87.1kg	65.6%	89.3cm	75.9cm	65.5cm	48.2cm	33.7cm	15.5cm ²	5.2cm ×3.8	15.9cm	32.5%	37.4%	30.1%
41-S-2	84.3	67.8	93.8	79.5	69.3	52.3	32.0	15.4	4.9 ×3.8	15.5	29.9	38.3	31.8
41-S-3	87.6	64.5	90.3	76.5	66.6	49.6	33.3	14.8	4.8 ×3.7	15.3	31.9	37.4	30.8
41-A-1	88.1	67.3	90.6	77.0	67.6	50.7	32.7	20.6	5.1 ×4.7	17.7	32.4	37.8	29.9
41-A-2	87.0	67.5	89.9	75.3	65.8	49.2	33.5	19.2	5.0 ×4.3	17.3	33.5	37.0	29.6

組 別	脂 肪 層 の 厚 さ			
	肩	背	腰	平 均
4 1 - S - 1	4.3 cm	2.2 cm	3.0 cm	3.2 cm
4 1 - S - 2	3.4	2.1	3.1	2.9
4 1 - S - 3	4.2	2.4	3.0	3.2
4 1 - A - 1	3.9	2.1	3.4	3.1
4 1 - A - 2	4.0	2.2	3.1	3.1

(4) 組別総合成績

組 別	品 種	一日平均 増体重	飼 料 要求率	背腰長さ一太さ	ハムの割合	脂肪層 の厚さ	総 合 評 価
41-S-1	Y	b	c	c-c	b	b	b-36
41-S-2	L	b	c	c-d	c	c	c-32
41-S-3	Y	b	c	c-c	b	b	b-36
41-A-1	Y	c	c	b-a	c	b	b-35
41-A-2	Y	c	c	c-a	c	b	b-34